

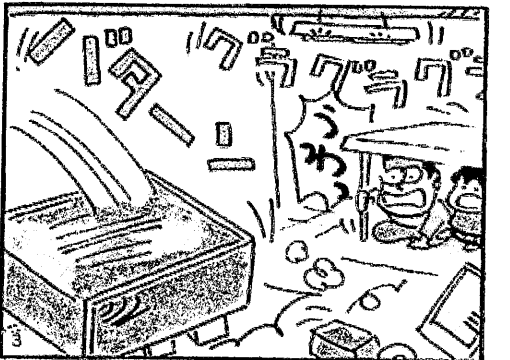
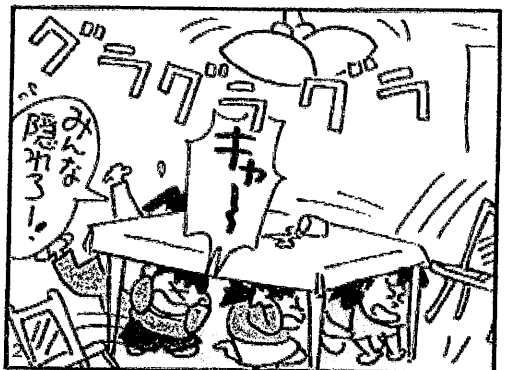
2011.3.11 東日本大震災

## 忘れまい!! あの時のことを

東日本大震災から2年。私たちの住む昭島の地は津波の脅威はありませんが、阪神大震災のように、立川断層等の活断層を原因とする都市直下型地震への備えが必要です。

減災の備えは、各家庭で行動することが一番重要です。

つつじが丘北自治会として、防災や減災の取り組みを管理組合と共に連携を取り、自助を中心に近助で助け合い“安心して住み続けたいまちづくり”を着実に進めてまいります。



▲東京消防庁・室内の防災対策ハンドブックより転載

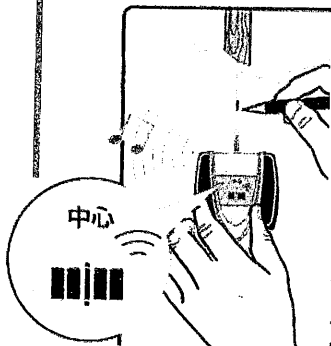
### ●3日間分以上の食糧と水は各家庭で備えよう!



★ライフラインの停止に備え、日頃から飲料水や非常食など最低3日分を備蓄し避難生活に必要なものを詰めた非常用持ち出し袋を用意しておきましょう

### ●自分や家族の生命は—自分たちで守ろう!

★まずは各家庭で家具転倒防止対策を



★地震の際、家具の下敷きになり多くの方が亡くなったり、大けがをしました。

大地震が発生した時には、「家具は必ず倒れるもの」と考え、防災対策を講じておく必要があります。家具は壁に固定するなどの対策をおきましょう。本日 3/11 より組合事務所で下地センサーなど『家具転倒防止取付工具セット』の貸出が始まりました。どんどん活用しましょう!